

I 調査結果の概要

1 個人経営体（漁船漁業：全国1経営体当たり平均）

主として漁船漁業を営む個人経営体の漁労収入は878万円、漁労支出は652万円、漁労所得は225万円となった。

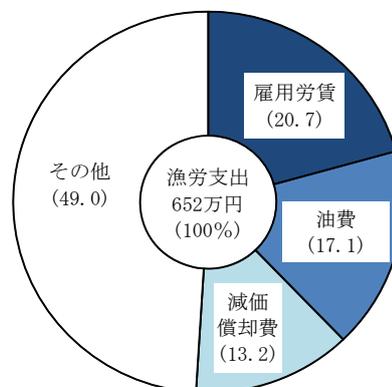
また、漁労所得に漁労外事業所得を加えた事業所得は237万円となった。

漁労支出の構成割合をみると、雇用労賃が20.7%と最も高く、次いで油費が17.1%、減価償却費が13.2%となっている。

表1 個人経営体（漁船漁業）の経営収支
（全国1経営体当たり平均）

図1 漁労支出の構成割合

区 分	単位	
	金額：千円	割合：%
漁労所得	2 252	-
漁労収入	8 776	-
漁労支出	6 524	100.0
うち 雇用労賃	1 349	20.7
油費	1 115	17.1
減価償却費	861	13.2
漁労外事業所得	113	-
事業所得	2 365	-



注：集計数は、306経営体である。

2 会社経営体（漁船漁業：全国1経営体当たり平均）

主として漁船漁業を営む会社経営体の漁労売上高は2億8,740万円、漁労支出（漁労売上原価と漁労販売費及び一般管理費の合計）は3億408万円、漁労利益はマイナス1,668万円となった。

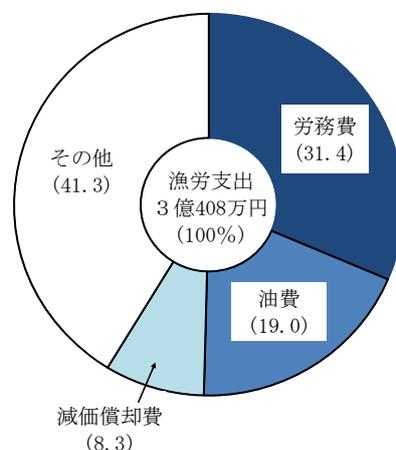
また、漁労利益に漁労外利益を加えた営業利益はマイナス1,129万円となった。

漁労支出の構成割合をみると、労務費が31.4%と最も高く、次いで油費が19.0%、減価償却費が8.3%となっている。

表2 会社経営体（漁船漁業）の経営収支
（全国1経営体当たり平均）

区 分	単位	
	金額	割合
漁労利益	△ 16 682	-
漁労売上高	287 402	-
漁労支出	304 084	100.0
うち 労務費	95 490	31.4
油費	57 916	19.0
減価償却費	25 139	8.3
漁労外利益	5 392	-
営業利益	△ 11 291	-
経常利益	△ 1 611	-

図2 漁労支出の構成割合



注：1 集計数は、139経営体である。

2 漁労支出とは、「漁労売上原価」と「漁労販売費及び一般管理費」の合計値である。

3 漁労支出のうち減価償却費は、「漁労売上原価」中の減価償却費と「漁労販売費及び一般管理費」中の減価償却費の合計値である。